

よさのうみ福祉会 広報誌

きょうと福祉人材
育成認証制度



2020年
3月1日
No.114

福祉よさのうみ

〈発行〉社会福祉法人 よさのうみ福祉会 〒629-2314 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600-6 TEL 050 (3532) 0601 FAX 0772 (43) 0606

障害のある人のゆたかな地域生活の実現を!

URL <http://www.yosanoumi-fukushikai.or.jp>



題

「わたしたちは自由」

『障害者週間』 啓発ポスター入賞!

夢織りの郷 つむぎ 長島 晴美

「これ応募してみたらどうだ?」管理者から渡された「障害者週間」啓発ポスター及び体験作文コンクール出展募集の案内。

夢織りの郷では「いきいき」「つむぎ」の合同クラブ活動が月2回あります。そのうち「図画工作クラブ」と「家庭科クラブ」のメンバー11名が昨年秋季ごろから、働く仲間の姿を描いた絵に貼り絵をし出展に向け取り組みました。そして選考の結果、京都府下の「高校生・一般の部」の作品の中から佳作に入賞したのです。

昨年12月25日、京都府公館レセプションホールにて表彰式がおこなわれ、いきいき浅野重樹さん、つむぎ茂籠和枝さんの2名が代表して出席し、京都府山内修一副知事より賞状と副賞を授与されました。

当日出席された浅野さんより

「表彰式に出席してとても緊張した。行くまではもつとぎくばらんに笑いながら表彰式をするのかと思っていたら、周りの人が背広や着物を着ている人たちがいた。

体験作文では受賞された学生さんが施設に入っているおばあさんの話をされてとても感動した。表彰式が終わるとほっとしたが、こんな式に参加できることはもう二度とないだろうと思った。参加することができて良かった。」

力を合わせて作り上げた作品には、仲間の思いがこめられています。佳作という形で認めていただけて仲間や職員みんな喜びました。

職員みんなで
一歩前進!

全職員研修

京丹後市相談支援事業所 結
相談支援専門員 坂根 徹也よさのうみ
福祉会全職員
を対象とした
「全職員研修」
が、昨年12月
21日にわーく
ばるにて開催
され、170
名を超える法

人職員が一堂に会しました。

研修会は青木理事長の挨拶で開講となりました。これまでの法人の歩み、直近10年の振り返りを話されました。よさのうみ福祉会の設立、今日の事業の特徴を紹介したうえで、法人設立40周年となる2020年を、仲間たちの願いを原動力にして様々な困難を乗り越え、着実な歩みの年にしたいという熱い決意を伝えられました。

次の勤続永年表彰では、法人の礎



青木 理事長

を築き、今もなお利用者のために奮闘している職員が登壇しました。与謝野町結 沖上管理者、いきいき小牧看護師が今までどのようなことがあり、どう感じたのか、利用者のことを思うが故の葛藤や努力を話し、まさに法人として、職員として受け継いでいかなければならない姿勢を教えられました。

アンパンマンでなくドラえもんに
意思決定支援

その後の講演では佛教大学社会



田中 智子 准教授

福祉学部
社会福祉
学科 田
中智子准
教授に「障害が
重い人の
暮らしの
中の意思
決定を支

える」をテーマにお話いただきました。意思決定はなぜ大切なのか。自己決定を支える専門性とは何かなど、限られた時間の中で非常に濃密なお話をいただきました。受講記録では「アンパンマンとドラえもんはどちらが良き援助者か?」という例えが大変分かりやすかったと多くの職員が書いていました。アンパンマンは自らが悪者をやっつけて解決しますが、ドラえもんはのび太君に道具を渡し、試し、喜び、時には失敗します。作品の優劣ではな

く、あくまで良い援助者の姿勢としてはドラえもんであると話されたことが、多くの職員に響いたようです。我々のふだんの支援の中の何気ない言動が、利用者の意思決定の機会を奪ってしまっていないのか、わかりやすく自分自身を顧みる機会になりました。また、「悩み続けること、迷い続けること」が反復的実践家として支援者に必要な姿勢であると話されたことに、安心感を得た職員が多くありました。悩みや迷いということはネガティブな意味で使われることが多いなか、日々懸命に支援について試行錯誤している職員にとつて、大変勇気づけられました。

次の企画では、いきいきの土井さんと職員が登壇し、自身の思いを伝えられました。言葉を発することができなくても、思いや夢を表現する土井さんと、寄り添う職員の姿に多くの職員が感動を覚えました。また、壇上で何かを伝えようとする土井さんに注目する全職員の熱い視



いきいき利用者 土井 美佐子さん



線を見て、ふだんの支援に対する姿勢を垣間見ることができました。
また、みねやま作業所 佐々木主

任より、前田さん(仮名)に対する支援を通しての実践報告がありました。様々な欲求や精神的に不安定な状態でも、粘り強く支援を続け、一見些細な変化からも本人の気持ちの変化を読み取られていることが素晴らしく、理想的な支援と感じました。

これまでの歩み、これからの一歩

法人の歩みと今日まで法人を支え続けたベテラン職員の思い、意思決定支援に関する学び、利用者の思い、寄り添う支援者の実践と、多くの内容が盛り込まれた研修会でしたが、簡潔に表現するとしたら「法人職員としてのプライドを持ち、利用者の思いに寄り添った支援者になる」ことが全体を通して求められていると感じます。制度や情勢の変化によって変わらなければいけないこともあります。変わらざるに悩み、迷い続ける支援者であることに誇りを持ちながら、職員みんなですんでいきたいと感じた研修会でした。

利用者の皆さんへより良い実践支援を届けるために

常務理事 奥田 茂樹

よさのうみ福祉会は「利用者権利擁護指針」を2018年6月に制定し、組織内に周知を図るとともに、その具体的な内容として「丁寧な対応」「人権の尊重」「主体性の尊重」を柱に掲げ、それぞれにおいて実施する中身を具体化し取り組んできました。

しかし、「指針」制定後も利用者に対し適切でない支援が行なわれていた実態が散見されました。法人は、不適切な支援のありのままの実態を把握・分析し、その原因究明とともに改善を進めるための具体的方策を検討し、その内容を法人としての「障害者虐待再発防止計画」にまとめました。法人全職員対象にした会議を年末に4回開催し、法人各事業所として改善に向け取り組む3つの重点課題を確認しました。

3つの重点課題を推進

一つ目の柱「職員の人権を尊重する意識を醸成し支援、実践力の向上をすすめる」

各事業所において利用者の実態や変化を把握し、その上で事例検討会議を定期的に実施し、職員間で支援方法の共有化を図る事としました。

また法人の専門委員会である「職員育成委員会」や「教育研修委員会」による各研修会の実施、新任職員OJTなどの取り組みをこれまで以上に深める事とし、合わせて高齢や障害福祉分野へ見学や実習に行き、他法人の実践や支援を学ぶ場も設ける事としています。

二つ目の柱「職員集団の質を高め組織内の風通しを良くする」

法人や管理者が職員の思いや意見を把握し、働きやすい職場環境を整える事が大切と考えました。職員がお互いに率直に意見交換できる関係づくりを進めるため、職員からの職場や法人に対する思いや意見の把握を行ない、その結果に基づき法人内の仕組みの検討を図ることとしています。

具体的な取り組みとして、全職員アンケートの実施、パソコン、スマートフォンからの意見・質問の受付、法人内事業所見学や交換実習等を進めています。また、理事長とフランクに話がしたいという意見を受け、全事業所に理事長が順次出向き管理職を除く職員との巡回懇談会を始めています。

三つ目の柱「虐待再発防止計画の定着」

計画した改善策の確実な実行、定期的な評価、必要な改善策が組織内に浸透・定着するよう実施状況を把握し推進します。

法人の「めざすもの」ならびに「利用者権利擁護指針」に照らし、利用者を主人公とした実践を積み上げ、利用者へより

良い実践・支援を届けるための取り組みを今後継続し取り組んでいきます。



すまいるにて理事長を囲んで

仲間の意見交流会

すまいる 支援員 濱中 哲也

きょうされん京都支部丹後ブロックで毎年開催している「仲間の意見交流会」。今年度は2020年1月28日に知遊館で開催し、丹後一円の事業所より40名を超える仲間が参加しました。当日を迎えるまでに仲間の実行委員会を2回開催し、企画内容や当日の運営の仕方についての検討をおこないました。

「意見交流会の目的は、他の事業所の仕事や仲間の思いを聞いて、自分の事業所に持ち帰り今後の生活に活かせるようにするためにあるものではないか？」会議のなかで、ある担当者が言った一言です。ただ参加して終わりではなく参加した後が大切です。今年度の仲間の意見交流会

は、仲間が何か一つでも学び、自身の人生を豊かに出来るように：そんな取り組みにしたい！からのスタートでした。

当日は2つのテーマで分科会形式で討議をしました。各事業所から持ち寄った発表があり、その後に質疑応答を含めた意見交流をする、といった内容でした。質疑応答の場面では「皆さんの事業所では後輩の仲間にとのよう作業を教えていますか？車椅子の方でも食品に携わる仕事をしている事業所はありますか？」などどふだん聞けない質問をこの場で聞いておられる仲間もありました。事業所に帰ったあと、参加した仲間から「質問したけど期待していた答えではなかった。けど行つて良かった。」と声を掛けられ胸を撫で下ろすことになりました。

この世の中インターネットが発達し「情報」は見たいときに見られる時代になりました。しかし本当の仲間の思いは、仲間から聞いて学ぶ。私自身とても勉強になった一日でした。



若手職員

新春座談会

【出席者】

〈司会〉広報部長 山下 美佐子
管理者

〈発言順〉

〈障害児者多機能型支援センターろむ〉
支援員 糸井 公美 入職7年目

〈いきいき〉

支援員 和田 衣里 入職13年目
〈与謝野町障害者支援センター結〉

相談員 吉岡 真輝 入職12年目
〈菜の花ホーム〉

支援員 市田 博也 入職13年目

仕事のやりがい、楽しさ
ころは？

糸井 ろむ
生活訓練事業※
は2年間の事
業で利用者は

4名です。支援学校を卒業してゆくり地域に移行していくという経験を積める場所は貴重だと思えます。仲間とゆつくりいろいろな瞬間を共有できるのはすごいやりがいです。

※生活訓練事業とは、特別支援学校を卒業した仲間が社会に出るためにおこなう生活訓練です。京都府内では2事業所のみ実施

和田 2年終わったらどうするんですか？

糸井 2年が終わる前に自分で進路を考えます。一般の大学生活4



和田

中活動をして
います。自分
の世界に入っ

てひたすら絵をかくて仲間もいればDVDを見ている仲間もいて、やっていることはばらばらだけれど一つの空間にいて、何か仲間が言ったことに対して他の仲間が反応して笑ったりとか、そういう空気がすごくいいと思います。これまでは夜は仲間も部屋に入っていない、1対1の関係でしたから。あと、行事が楽しいです。夏祭りとか、クリスマス会とか、こないだは旅行も行きました。担当の職員が、仲間を巻き込んで作り上げていく夏まつりはご家族も来ていただいていたって一緒に楽しい時を過ごしました。

吉岡 私は3年前に相談支援に異動になり、知識や視野が広がった気がします。作業所時代は外部とのかかわりは、他法人の作業所だけでしたが、今は行政や地域の方

とのかかわりも多いです。精神サロン事業では週に1回会場を借りて地域のボランティアである心の健康推進委員会さんにお世話になっていきます。何年も続けていてご飯を作ったり、利用者の話を聞いてもらったり。作業所では出会えなかった地域の社会資源である人たちと出会うことが多くなりました。

市田 ホームでの生活支援をしています。今は、月3回くらい泊り勤務があります。日勤は仲間を送り出すと受け入れまで誰もいなくて仲間とかかわることが少なくなくてずっと孤独でしたが、最近は遅出を増やして仲間とのかかわりが増えました。やっぱり楽しいです。支援が仕事だと思ってるので、仲間がいなくて何しとるん？と感じます。

悩み、困っている人

糸井 男性利用者がおられますが、担当は女性職員2名のため、他の班の男性職員に頼れないとトイレや着替えの支援ができないんです。私が男なら介助できるのに！と思うことがあります。性格は男性のようなものなんです(笑)。ろむに正規の男性職員をもう一人配置してほしいです。

吉岡 相談支援事業所では、知識に触れる機会はあり勉強になることも多いですが、いろいろな制度やサービスの使い方が自分自身まだうまくできていません。本人やご家族からの要望を受け、自分で調べ、他の職員に尋ねたりして進めています。しかし、作業所での10年の経験がまだ生かせていないかなと思っています。

市田 意思疎通っていう部分で、会議で確認したいなっていうところがいっぱいあります。また現場でもう一回言わないといけないけれど、年上の人には言葉を選びながら言わないといけない。今度からホームでこうしよう、支援はこうしようと言うのを全員に伝えるのがすごく難しい。職員集団でみんなが一緒の方向を向く、というのが難しいと思います。会議でみんなの意見を聞きながら一応そういう確認はしているんですが。



吉岡

吉岡 この
職場でも同じ
方向って言う
のが定まりに

くいんだなと思います。会議の場
で、困ったことがあったら相談し
ますが、基本は一人で考えてやり
ます。

行事はたいへんだけれど楽しいー！

糸井 ろむはこの前新年会をし
たんですよ。寿司の板前さんをお願
いして。仲間の意見を引き出すの
も大事ですけど、職員が勢いでや
ろうと思わないとダメだなあとつ
くづく思いました。

出し物がすごく盛り上がりまし
た。花咲かしいさんをやったり、「明
日があるさ」の替え歌で、仲間の
紹介を入れながら、うたったり仲
間がそれに合わせて体操をしたり
：1年間毎日して馴染んだ体操を
取り入れたので、気が付けば1年
がかりの発表だったのだなと思え
るくらい。寿司も美味しかったけ
れど、それ以上に一体感のある楽
しい新年会でした。

昨年、のきようさん全国大会に
訓練事業の仲間と、てくてく班の
仲間が1泊2日で名古屋に行きま
した。大変なことはもちろんいろ
いろありましたが仲間が楽しかつ
た、また行きたいと言ってくれま
した。

和田 いきいきの旅行は30名全員

の仲間が行くのは大変ですが、やっ
ぱり行くと楽しい。私の担当の利
用者で部屋で眠れるか心配してい
た方が、一晩部屋で過ごせたんで
す。前にろむの旅行に行かれた時
はロビーで大きな声を出して大変
だったと聞いていたので、覚悟し
て行ったんですけど。それもいき
いきで職員がたとえ眠れない日があ
っても、頑張つて毎日毎日部屋
に誘導した積み重ねがあったから
だと思えます。すごい穏やかで大
きな声も聞かず、落ち着いておら
れました。あと自分の担当の方で、
全職員研修で発表された方です
が、飛行機に乗りたいたいという願
いがあって、その願いを叶えてあげ
たいんです。ただ飛行機に乗るの
はホリデータイムだけでは無理で、
一対一のそれをどう保障して行け
るかなと悩みます。個別支援計画
の長期目標のところにまず書いて、
ですね。

市田 但馬空港でいいんじゃない
い？（笑）遊覧飛行とかしてない
んですかね。

和田 いや飛行機にのって沖縄に
行きたいんです。どこ行きたい？
と聞いたら沖縄だったんです。

仲間の思いをくみうるって

和田 自分の思いをことばで表せ
ない人が、今どう思われているの
かなと思うことがあります。声は
発せられるが聞き取れないので、は

い」の場合は口を開けてもらうよ
うにして意思を把握しています。
ただ口を開けておられるのか疑問に
いいと思つておられるのか疑問に
思う時もあり、たくさんの方の選
択肢を示してあげたい。でも職員の
聞き方次第では誘導になるかもし
れないし、悩みます。

糸井 ろむには3回くらい聞き返
すと「もういいわ」と伝えるのを
あきらめてしまう方がおられます。
だから3回までどこまで聞き取
るかが勝負なんです。自分の思い
をしつかりと持つておられる方な
ので、どう聞き逃がさずに聞か
が大切ですね。最終、簡単な表現
カードを使つて意思を確認してい
ます。



市田

市田 職員が
相手のことを
理解しないと
仲間も言つて

きてくれないと思うので、こちら
は寄り添うということから始めて
仲間のことを理解していき、仲間
も私を理解してくれるとお互いが
理解できると思つています。

家族や地域のいい

糸井 私は子どもが通う保育所は
20時まで延長保育が可能な所を選
びました。早く迎えに行くように
はするんですけど。うちの子は寝
るのがすごく遅くてフルパワーで
11時ぐらいまで起きています。す

ごくかわいくてパワーをもらつて
いますけどね。子どもたちは元気
になる一方、こっちは老いる一方
なんでアンバランスなんですけど
負けてなるものかって感じです。
（笑）

市田 私は子どもとよく遊んでい
ます。最近はバスケットボールを
買って。楽しいですよ。本人たち
もやる気のできは試合を見て成
長ぶりに感動して泣きそうになり
ました。ドリブルもできなかった
のが着実にできるようになってき
ているのが目に見えて。

（山下）イクメンですね。

吉岡 私は以前から消防団に入り
活動をしています。これからは指
導的な役割が回ってくると思いま
す。その中で地域の人との関係づ
くりができればいいなと思ってい
ます。

和田 私は家で飼つてる犬ですね。
犬がかなりおぼあちゃんになつて
しまつて、毎日おむつ生活で、一
緒の部屋で寝てるんですけど、夜
中の2時半とかに起きだして動き
回るんですよ。自分でお水飲むこ
ともできないので口元までボウル
を持っていつて飲ませたり…。で
も寝顔がかわいいなって思つて癒
されています。

精神的に疲れたりした時に、 どうやって切り替えますか

糸井 職場は人間関係が一番だと

思っていて、体力的にしんどいのはいいんですが、人間関係が崩れると「行きたくない」になってしまいます。だから人間関係を崩さないようにしています。

市田 ホームでは正規職員が私だけなので、管理者へ伝えるまでもないことを一緒にの立場で話し合える人がほしいなと思っています。ホームの職場は孤独です。悩みや孤独は家に持ち帰りお酒を飲みます。(笑) ギター弾いて歌って、子供も歌を覚えて一緒に歌います。**糸井** 作業所でも昼休みに弾いてくださったよ。仲間がまわりにふわふわって寄って、いい感じでした。楽器が弾ける人がいたらいい時間が流れるじゃないですか。仲間はみんな歌が好きですよ。

吉岡 最近、晩酌する機会が多くなりました。でも自分の性分なんですし、忘れよう、リセットしようとしてもどうしても残ってしまいます。自分が強くなったらそんなに困難でもないだろうと思ってしまう。

和田 私は変則勤務なんで「あと何日ががんばろう」みたいな感じ。

こんな事業所にしたいなという思い

和田 あーあ、車輛がない。(全員大笑) いつもつむぎの職員に、使っても良いですかと聞かなくて

はいけないんです。いきいき所有車はいきいき号という段ボール作業で使う車と、受診で使う医務号の2台です。リフト車はつむぎ所有なので、一週間の予定を立てて使いたい車輛を書いて使わせてもらう。つむぎの予定とぶつかる時もあるし、つむぎの送迎時間までには帰ってこないといけない。いきいきは個人の願いを実現するためのおでかけをするホリデータイムという時間を作っているんですが、その日も3時半の送迎までには帰ってこないといけない。仲間にとつては年に一回の機会なので、遠くに出かけたいけどできません。いきいき所有の車があれば、もっと活動の幅も広がると思います。

市田 若草ホームも車がないですもん。**(山下)** 広くみなさんに…寄付してもらえないかな、車を。**市田** 菜の花ホームは、土、日なかなか外出できていないんです。仲間からはどこかに行きたいとよく言われるのに、達成できていません。車輛の問題と職員の配置数が少ないんで、なかなか行けないんで、増やして下さい。(笑)

和田 いきいきも増やして欲しい。(笑)**糸井** 訓練事業は、毎年仲間の顔ぶれも変わってくるので、その年にできることややりたいことが変わってくるんですね。だから今年

の一番良いものをつくらうっていう感じでいいです。基本的にいっぱい経験を積んで欲しいですね。毎日やるのがしつかりできる、生活経験が習慣付くことが大事かなと思っています。

5年後、こんな感じ? 異動したり昇格したり…

市田 私は5年後は41歳です。異動しているでしょうね、きっと。私は4年前、生死をさまよう大病をしたんです。ノロウイルスに感染して腎臓、肝臓にまで菌がいつて、もうだめだなんていうところまでいったんですが、奇跡的に助かりました。それから考え方が変わりました。一日一日を大切に、その積み重ねで結果が5年10年後かなと。

和田 私は今でいきいき13年。5年後だと18年いきいきになりますね。いきいき以外を経験したことがないので。今年法人事業所ツアーに参加して行ったことがない事業所に行ってみて、いろいろ見えて広がった部分がありました。違う所で仲間に関わるのでもいいのかなと思います。でもいきいきが必要とされるならいきいきでもいいです。**吉岡** 私は自分の中では相談員が合っているのかなと思います。5年後は別の新しい所も見てみたいとも思います。**糸井** 10年後といったらうちの子

も小6になっていきます。上の子19歳、もうすぐ成人式、それでも母は必死に働いているみたいな。10年後・もつとサービスが充実していたらいいなと思いますね。

これからの抱負

市田 実践現場で一日一日の積み重ねでその結果が5年10年先かな。仲間の健康第一で、それで笑っていてこそ仲間の暮らしなんだと職員みんなでおさえらるような集団作りをしていきたいなと思っています。どうしても職員都合で決めざるを得ないところがあります。小集団なので、家なので、仲間の願いを叶えないとダメじゃないですか?

吉岡 自分のスキルアップに尽きるかなと思います。自分が成長していったら、利用者の支援につながると思います。

和田 施設の名前通りいきいきと仲間が暮らせる、安心して日々過ごせる場所で職員でありたいなと思います。

糸井 自分が楽しいと思えることは、きっと仲間も楽しい(笑)。仲間が楽しいと思うことを提供していききたいなと思います。仲間にはたくさん体験を積んでもらいたいの、でも「楽しい」が最後に来たらうれしいなと思います。

「親のつらさ」

息子への思い

息子が支援学校に在学中のころから、夏休み等の長期の休みの時には伊根の里に通えるようにと未熟な親の私へアドバイス頂き、先生はじめ関係者の方々のサポートにより息子の卒業から入所までの環境づくりを考えてくださったおかげで、卒業するころには息子の口からも卒業したら伊根の里で資源回収を頑張るという気持ちが現れました。

息子は行動するための準備に時間がかかるため、毎日の送迎や作業についても行動へ移せるよう「待ち」、やる気を出せるよう「声掛け」してもらいながらではあります、成長に合わせた支援の計画を立てていただきながら、卒業から3年目になった今も、毎日元気に通所できていることに感謝の思いで一杯です。

息子は伊根の里での行事や外出の機会をととても楽しみにしていて、予定が出るとうれ

伊根の里

利用者家族 糸井正拡

しように伝えてくれるので、職員や同じ利用者の方々のサポートによって、通いやすく居心地の良い環境にしていただいている事を実感しています。

息子はこれからも多くの方々に支えていただきながらの人生となるため、あきらめていない姿で作業に向かい、仲間や職員の方々に理解してもらいながら、ちよつとづつでも成長してもらいたいです。

息子本人は土曜日の余暇時間が楽しみで朝から進んで通っていく姿を見ては今は安心しています。



リレー随想

すまいる
支援員 濱中 哲也

「ちゃんばらん」私の事を知っている人はそのような言葉が真つ先に思い浮かぶかもしれません。私も気付けば、よさのうみ福祉会に入職して8年が経ちました。本当にあつという間の8年間です。入職後はみやづ作業所、リフレかやの里、そしてすまいると3事業所で働かせていただいています。苦楽はいつぱいありましたが、早く一人前になれるように日々励んでおります。

最近ふと、「なんでこの仕事をしているのか？」と疑問に思うことがあります。「仲間とかかわるのが楽しいから?」「仲間の笑顔が見られるから?」。その答えは今も見つかりません。もし答えがあるのなら「こんな自分を頼つてくれる人がいる。誰かの役に立てたりする」という思い。その思いが私の日々の支えになっています。また、私生活では5年前に結婚し今年4歳になる息子がいます。日々成長していく息子に命の尊さを学び「こんな自分がしつかりと育てられるのか?」と不安になることもしばしば。しかし、息子の笑顔を見ると日々の疲れも和らぎます。現在、息子と私のマイブーム

は「すごろく」です。妻を含め3人でいつもしていますが、息子は自分が先にゴールしないと「嫌だ!!もうせん!」と泣き叫びゲームは中断します。そこで「経験として負けることを覚えるのも大切だ」と妻と話し合、「自分がいくら負けていてもゲームの中断をしない」というルールを設けることにしました。負けた時に悔しくてシクシク泣いている息子を見ると「頑張つて大きなあれ」と切に願います。そんな大切な家族、そして大切な仲間と共に成長し、この大好きなよさのうみ福祉会を盛り上げられる人材になりたいです。

次回は ヘルパーステーション結
サービス提供責任者 関忠志です。

ご寄付御礼

みなさまからのご寄付、誠にありがとうございます。

2019年12月13日〜2020年2月17日

(順不同・敬称略)

谷口富彦	篠竹裕美	大江道子
西垣嗣男	石田栄男	富田勝之
今井昌子	今井春美	橋川健祐
稲葉麗子	荒川俊宏	岩西一男
石倉孝	藤原道子	
浪江医院 浪江和夫	株式会社フクダ	
一念寺仏教婦人会	称名寺仏教婦人会	
日本キリスト教団丹後宮津協会		
カトリック丹後教会宮津教会堂		
伊根町社会福祉協議会	シブタニ二商店	

その他匿名でもたくさんのご寄付をいただいております。

花音7周年イベント

みなさまに支えられ、
喫茶・花音は
3月1日で
7周年を迎えます

3月2日(月)～3月14日(土)の期間中

- ①花音ご利用のお客様に次回から使用できる
コーヒー無料券をプレゼント!
- ②スタンプカードのスタンプ倍押しサービス!



喫茶・花音

月～土(日・祝定休) open10:30 close16:00
与謝野町加悦802-7 TEL 0772-44-0022

宮津・伊根地域の作業所を支える会

着物ミニバザー

昨年の2019年3月、宮津・伊根地域の作業所を支える会では、宮津市民体育館剣道場で着物バザーを実施しました。来場された皆さんから大変好評で、次回を希望される声をたくさんいただきました。そこで今年は、昨年より規模をコンパクトに「着物ミニバザー」として、着物の販売会を実施することになりました。皆さんにまた満足いただけるよう、支える会では準備に取り掛かっております。開催は2020年4月12日(日)を予定しております。(時間場所未定)よろしくお願いします。



夢織りの郷を支える会

資源回収

今年度も地域の皆様からたくさんの資源を提供していただき、高校生のボランティアの方にもご協力いただきながら資源回収をすることができました。今年度の資源回収も残すところあと2回になりました。

3月の資源回収は下記の通り実施しますのでよろしくお願い致します。

◎ 3月14日(土) 与謝野町 野田川地域資源回収
雨天の場合予備日 15日(日)

◎ 3月28日(土) 与謝野町 加悦地域資源回収
雨天の場合予備日 29日(日)

*変更の場合は8時にFM告知放送にて連絡させていただきます。

*午前8時半までに道路から目に付きやすい所にまとめて出していなければなりません。

回収できるもの

新聞・雑誌・アルミ缶・ダンボール・衣類

回収できないもの

ビン類・布団・毛布・制服・汚れた衣類

当日のお問合せ先 ☎090-1135-0380 当日までのお問合せ ☎0772-43-0380

障害のある方の暮らしをサポートする仕事です



グループホーム スタッフ大募集!! ヘルパー大募集!!

ほっとできる暮らしの場のお手伝いをお願いします。
今、人員不足でとても困っています…
お知り合いの方があればぜひぜひご紹介ください。

問い合わせ先

社会福祉法人よさのうみ福祉会

[法人事務局] ☎050-3532-0601 担当者/奥田

編集後記

三月といえば「手紙」を思い出す。

昨年、娘が大阪で一人暮らしをすることになった。「子どもがいなくなると寂しくなる」「見送りの時は涙が出る」と周りの人に言われたが…。その日も、「気をつけて行ってらっしゃい!」「行ってきます!」といったもと変わらず後ろ姿を見送った。何かあればラインで連絡を取り合い寂しさはなく、むしろ洗濯物と炊事の量が減りうれしかったほどだ。数カ月後、娘から手紙が届いた。その頃の私は仕事や自分自身のことで悩んでいた時期でもあった。手紙の内容は学校生活や友だちのこと、一人暮らしをしての大変さ、そして母親への感謝の気持ちなど。2枚目を読むときには涙があふれていた。手書きという手紙の温かさ。相手のことを想い書いてくれた気持ち。今も読み返す時がある。精神的に助けられる。「明日も自分らしく行こう!」。

三月、卒業式などむかえ新たな生活を始める方や大切な方に、手紙を書いてみませんか?(な)